

連載3回

西部周辺地域に対する連携と統合 ハブ機能重視し、「脱重慶」を目指す

中国の都市はいま構造改革の時期にさしかかっている。西部開発のフロンティアである重慶市も、「直轄一〇周年」を迎え、その発展戦略についても転換の必要に直面している。周辺地域の牽引役を果たすための広域交通・物流機能の高度、そしてこれを基盤とした広域産業・ビジネス、および交流の「ハブ機能」の形成が重要な都市発展戦略となっている。

直轄一〇年目の再挑戦

重慶市は人口三〇〇〇万超の世界最大の都市で、中国西部地域最大の中心都市であるとともに、三峡ダム水没区域から一〇〇万人規模の移民を抱える都市でもある。一九九七年、重慶市は中国で四番目の直轄市になったことをきっかけに持続的な経済成長を遂げ、メガ都市の基盤が急速に形成されつつある。

とはいえ、西部大開発の中心となるべき都市として、本来周辺地域を牽引するだけの力が重慶にはまだないという現状がある。直轄市となつて一〇年が経過、重慶市はまさに再出発のタイミングにある。

このような背景から、今年の五月に重

慶市が新たな都市発展のビジョンと長期戦略を掲げた。そこには三つのポイントがある。

第一に、重慶の発展目標を、①中国西部地域の成長核、②長江上流地域の経済センター、③都市・農村の調和・連携発展の戦略的モデル地域としている。

第二に、「一圏兩翼」というグレート重慶に着目した都市構造を形成する。「一圏」とは中心都市からの一時間交通圏であり、時間距離を念頭にした都市構造の再編と言える。「兩翼」とは万州を中心とした東北発展軸と黔江を中心とした東南発展軸を指し、都市と農村の長期にわたる調和的成長を狙っている。

第三に、中国西部地域ひいては西南地域の交通・物流ハブ機能形成を形成し、周辺地域を牽引できるビジネス基盤を構築する。

交通物流ハブの構築へ

これらの目標を達成するため、いかに自身を国際的ネットワークの中に組み入れ、周辺地

域と連携しながら重慶ならではの強みを発揮し、広域における牽引力としての役割を果たしていくことが最も重要な課題になってくる。

このような大きな戦略転換のタイミングに合わせて、野村総合研究所（以下、NRI）は二〇〇六年に重慶市の都市発展ビジョンづくりのプロジェクトに携わることになった。重慶市が目指す中国西南地域の交通物流ハブという目標を踏まえ、より国際的視野のもとで中国西部および西南地域における将来的なポジションを確立し、長期発展目標と発展戦略を策定するものである。

NRIでは、交通物流ハブというコンセプトを具現化するための条件に焦点を当て、広域産業連携と広域交流連携を軸とした都市発展戦略、将来における国内外のネットワーク型発展を可能とする都市整備のあり方、および総合力を駆使した周辺地域に対するサービスなどについて提案し、西部および西南地域のための「脱重慶」発展戦略を提唱している。

「脱重慶を支える戦略的な都市機能には、交通・物流機能の高度化はもちろん、「水・陸・空」を結ぶ広域交通・物流機能を基盤とした広域産業・ビジネス、および交流のハブ機能の形成が不可避になる。重



大型都市開発プロジェクトについてNRIのコンサルタントたちが重慶市政府の方と一緒に検討。写真：田中哲治郎（NRI上海）

慶市で現在進んでいる空港拡張プロジェクト、長江沿いの港整備プロジェクト、および急速に建設される都市鉄道や高速道路などの広域型インフラ整備プロジェクトはまさにハブ機能強化の実践である。

*

このシリーズはNRIが実際に手掛けた中国の都市発展戦略プロジェクトをもとに展開してきた。これらのプロジェクトはともにもメガ都市の周辺地域に対する連携や統合が主要テーマになっており、これからの中国で広がる連携と調和を意識した都市発展戦略への転換を象徴するものといえよう。

プロフィール
葉華 (YE Hua)
野村総研(上海)諮詢有限公司(NRI上海)
副總經理 チーフコンサルタント
専門は都市政策、都市計画、地域発展戦略、歴史的環境保全など。工学博士。中国同濟大学、早稲田大学の講師を経て野村総合研究所に入所。2006年より現職。2002年から主に上海市、北京市、天津市、重慶市など現地政府より依頼された各種の都市発展戦略策定、大規模都市開発立案、及び産業振興施策のプロジェクトに携わる。

野村総研(上海)諮詢有限公司
上海市淮海中路1045号淮海國際広場9F
TEL: (021) 5465-9980 FAX: (021) 5465-9981
URL: http://www.nri.co.jp/